

第 32 回環境情報科学 学術研究論文発表会

ー 同時開催 第 15 回環境情報科学ポスターセッション ー

日 時： 2018 年 12 月 17 日（月） 8：55～19：00（受付開始 8：30）

会 場： 日本大学会館大講堂ほか

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 8 番 24 号

TEL. 03-5275-8110

内 容： ・環境科学に関する研究論文発表 57 題（内 口頭発表 50 題・ポスター発表 7 題）

・環境科学に関するポスターセッション約 50 題

・会員からの公募による企画セッション（4 セッション）：

①再生エネルギー100%社会の実現に向けてー世界の動向と日本の取り組みー

②SDGs の地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー・パートナーシップの観点から

③海洋資源開発における海洋環境影響評価

④アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けてーCCS を事例としてー

・一般公開シンポジウム「第 5 次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標（SDGs）の達成への取組と環境研究からの貢献」

・研究者交流会（優秀ポスターの表彰ほか）

参加費：正会員・賛助会員 2,000 円 準会員 1,000 円 非会員一般 3,000 円 非会員学生 1,500 円

（ただし シンポジウムのみの参加は参加費無料。その場合、開場受付 14：45～）

※研究者交流会参加費（希望者のみ）：

正会員・賛助会員 3,000 円 準会員 2,000 円 非会員一般 4,000 円 非会員学生 2,500 円

◆問合せ先（事前申込不要）◆

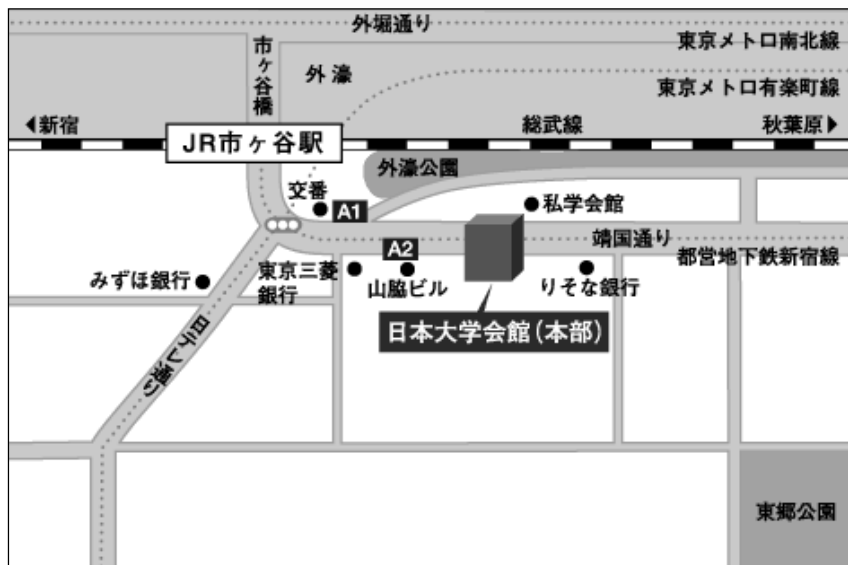
一般社団法人環境情報科学センター 事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-2-7 いちご九段三丁目ビル

TEL: 03-3265-3916 FAX: 03-3234-5407 E-mail: member-jimukyoku@ceis.or.jp

URL: <http://www.ceis.or.jp/>

◆会場地図◆



（日本大学ホームページより転載）

【交通】

JR 市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分、東京メトロ・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車 徒歩 2 分

第32回 環境情報科学 学術研究論文発表会 全体プログラム

※収容人数

	A会場(大講堂) ※約200名	B会場(大講堂) ※約100名	C会場(204会議室) ※約30名	D会場(203会議室) ※約40名	E会場(201会議室) ※約20名
8:30	受付開始				
8:55	開会挨拶(論文審査委員長)				
9:00	論文発表		論文発表	論文発表	論文発表
9:15	<論文口頭発表> 発表セッション① 「都市・地域環境」 9:00～10:30		<論文口頭発表> 発表セッション② 「景観」 9:00～10:00	<論文口頭発表> 発表セッション⑥ 「環境教育・市民参加」 9:00～10:30	<論文口頭発表> 発表セッション⑦ 「レクリエーション・観光」 9:00～10:00
9:30					
9:45			論文発表		論文発表
10:00			<論文口頭発表> 発表セッション③ 「気候変動・エネルギー」 10:00～11:00		<論文口頭発表> 発表セッション⑧ 「環境心理」 10:00～12:00
10:15					
10:30					
10:45					
11:00	企画セッション	ポスター発表・ポスターセッション	論文発表	企画セッション	
11:15	企画セッション①	○論文ポスター発表(7題) ○環境情報科学ポスターセッション(約50題) ***** ※質疑応答:11:45～13:45 ※ポスター展示時間: 11:00～14:30	<論文口頭発表> 発表セッション④ 「地域・制度設計」 11:00～12:30	企画セッション③	
11:30	「再生エネルギー100%社会の実現に向けてー世界の動向と日本の取り組みー」			「海洋資源開発における海洋環境影響評価」	
11:45	11:00～12:30			11:00～12:30	
12:00					
12:15					
12:30					
12:45					
13:00					
13:15	企画セッション		論文発表	企画セッション	論文発表
13:30	企画セッション②		<論文口頭発表> 発表セッション⑤ 「生態系・水環境・熱環境」 13:15～14:45	企画セッション④	<論文口頭発表> 発表セッション⑨ 「地域・農村」 13:15～14:45
13:45	「SDGsの地域社会との接合可能性を探るーマルチステイクホルダー・パートナーシップの観点からー」			「アジア地域の持続可能な社会形成の法政策制度とその社会実装に向けてーCCSを事例としてー」	
14:00	13:15～14:45			13:15～14:45	
14:15					
14:30					
14:45					
15:00	シンポジウム				
15:15	一般公開シンポジウム 「第5次環境基本計画の策定等を踏まえた持続可能な開発目標(SDGs)の達成への取組と環境研究からの貢献」 15:00～17:15				
15:30					
15:45					
16:00					
16:15					
16:30					
16:45					
17:00					
17:15					
17:30					
17:45					
18:00		研究者交流会 (優秀ポスター発表等)			
18:15		17:30～19:00			
18:30					
18:45					

第 15 回 環境情報科学ポスターセッション

質疑応答時間（前半） 11:45～12:45

発表 No.	ポスタータイトル	発表者名（所属）
1	日本の自治体における SDGs の認識状況：未来都市の計画・事業内容を題材として	増原 直樹（総合地球環境学研究所）
3	嶺岡山系における地質と自然生態系の市民調査の結果から見た地域資源活用の可能性	浅田 大輔（NPO 法人大山千枚田保存会）
5	里山水系の水質特性に基づく窒素・リン低減サイトに関する研究	山崎 慶太（株式会社竹中工務店）
7	北海道東部西別川流域における河川水質からの土壤炭素含有率の推定	佐々木 章晴（北海道大学農学研究院）
9	ステークホルダー対話による気候保全計画策定における研究機関の役割	竹内 彩乃（一般社団法人環境政策対話研究所、東邦大学）
11	ドイツにおける電力事業者の選択要因に関する定量的分析～ロジットモデルによるシュタットベルケの選択確率の推定	小谷 将之（国土交通省）
13	地域エネルギー事業への展開に向けた住宅の電力消費データ解析	平野 勇二郎（国立環境研究所）
15	中国電力体制改革に関する R-SCP パラダイムを用いた分析研究	董 蘊萌（早稲田大学）
17	太湖の富栄養改善の可能性と課題についての考察	リョウ エンカン（早稲田大学）
19	持続可能な里地里山保全活動の条件に関する研究	胡 夢君（早稲田大学）
21	自動車に依存しない移動手段利用意図の心理モデルの検討—真駒内地区における事例調査—	水鳥 翔伍（北海道大学）
23	都市における緑地空間の景観評価に関する研究—東京ミッドタウン・ガーデンを対象として	呂 媛媛（早稲田大学大学院）
25	もし 311 が発生したのが真夏だったら—震災後の帰宅行動と熱環境上のリスクに関する研究—	劉 旭（筑波大学大学院）
27	持続可能な農業の実現に向けた農家の GAP 認証取得に対する影響要因分析	志田 夏希（横浜国立大学）
29	タイトル：抗菌薬の適正使用のための効果的な PR 方法とは？	小山 優花（中央大学）
31	参加型美化活動を通じた市民の地域帰属意識の醸成と変容に関する研究—本庄早稲田地区での花植ワークショップを例として	小笠原 正人（早稲田大学大学院）
33	浄化困難な粘性土壤中クロロエチレン類の効率的加温浄化手法の開発～物質別の加温浄化促進メカニズムの解明～	宮川 涼（横浜国立大学大学院）
35	フィリピン・ラグナ湖周辺を対象とした将来土地利用シナリオによる流出量変化の把握	北野 瑛詩（東京都市大学）
37	東京都海上公園の整備にみられる水辺の環境改善効果に関する研究	田中 孝登（日本大学）
39	土壤動物 Megascolidae sp. が土壤の理工学的特性に与える影響に関する研究	金子 貴徳（東京農業大学大学院）
41	洋上風力発電事業における漁業振興策の検討プロセス—長崎県五島市を事例に—	小野 澤良（東邦大学）
43	Comparison of New York and Tokyo' s material stock of buildings estimation model using nighttime light data	DIMA SELENCE（名古屋大学）
45	大学における環境配慮行動啓発ポスターの比較調査	鈴木 健次郎（東邦大学）

■第 15 回環境情報科学ポスターセッション

日時：2018 年 12 月 17 日（月）11:00～14:30（展示時間）
11:45～13:45（質疑応答）

場所：日本大学会館 大講堂（B 会場）

主催：一般社団法人環境情報科学センター

運営：環境情報科学ポスターセッション実行委員会

■研究者交流会

日時：2018 年 12 月 17 日（月）17:30～19:00（予定）

場所：日本大学会館 大講堂（B 会場）

会費：準会員 2,000 円／正・賛助会員 3,000 円

非会員学生 2,500 円／非会員一般 4,000 円

質疑応答時間（後半） 12 : 45 ~ 13 : 45

発表 No.	ポスタータイトル	発表者名（所属）
2	農のある暮らしの豊かさをシェアする「マルシェコミュニティ」	豊嶋 尚子（京都大学大学院）
4	高解像度オルソモザイクを用いた Advanced-Satoyama Index によるエコトーンの定量的評価	時任 美乃理（京都大学）
6	住宅エネルギー対策の「都市」と「地方」の相違と今後の課題 ～日独比較による FIT 買取期間終了後の展望	土屋 依子（国土交通省・明治大学）
8	夏季屋外における遮熱強制通風服の効果に関する実験	三坂 育正（日本工業大学）
12	市街地路傍におけるシダ類の気候変動指標化に関する研究 九州、沖縄の事例から	村上 健太郎（北海道教育大学）
14	水環境ガバナンスの構築に関する研究-中国「江南水郷」を例として-	趙 書恒（早稲田大学）
16	中国都市における交通渋滞による CO2 排出量についての分析的研究	厳 辰旭（早稲田大学）
18	日本の企業 10 社の SDGs への取組の特徴に関する研究	高瑩（早稲田大学大学院）
20	マップを通じた住民の SDGs 理解促進の試み	和田 恵（慶應義塾大学大学院）
22	健康増進を目的とした公園の利用実態とその在り方	村岡 治城（関西大学大学院）
24	企業環境活動が消費者の環境イメージに与える影響について～飲料業界を例として～	ZHONG XIAOWEN（早稲田大学大学院）
26	自転車を使用した移動観測法によるつくばセンター周辺の気温分布図調査とヒートアイランド現象の把握	手塚 勇太（筑波大学）
28	東京都内医師会の抗菌剤適正使用に関する啓発活動～HP から見る活動状況～	金子 直樹（中央大学）
30	自動車保険データを用いた交通事故関連指標の推計に関する研究	加藤 正康（中央大学）
32	小規模耕作放棄地の再生利用活動における促進・阻害要因の明確化ー埼玉県本庄市小和瀬地区における耕作放棄地再生事業を例として	田 倩倩（早稲田大学大学院）
34	モンテカルロシミュレーションによる建築物滞留年数の推計-名古屋市中心部及び北九州市小倉北区の 4d-GIS を用いて-	大澤 啓裕（名古屋大学）
36	中山間過疎地域にみる洪水被害者の生活再建プロセスとその特徴	飯塚 智哉（日本大学大学院）
38	2016 年台風 10 号における岩泉町の住民避難行動の実態	野中 康太郎（日本大学）
40	Eco-DRR 導入時の経済的効果に関する研究	森崎 理哉（慶應義塾大学大学院）
42	空港・港湾を対象とした輸送インフラ毎の物質ストック利用効率の推計 -旅客数及び貨物量と物質ストックの比較	松尾 佑磨（名古屋大学）

■第 15 回環境情報科学ポスターセッション B 会場ポスター展示位置

